

特別職の期末手当 引き上げに反対

12月定例議会は18日、上程されたすべての案件を可決し、閉幕しました。採決に先立って行われた討論には橋本正幸議員が登壇しました。

上程されているが、多くの市民、市内中小企業は大企業、大金持ちだけが儲かるアベノミクスのせいで、依然として苦しい暮らし、営業を余儀なくされている。こうした中で引き上げは住民の理解を得られないものと考え、反対する」とのべました。賛成討論はありませんでした。

同議員は、議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正、特別職の職員の給与に関する条例の一部改正など4つの条例改正とその関係予算を含んだ一般会計補正予算など2議案について、「いずれも当市の議会議員並びに市長、副市長など、特別職の期末手当の支給月数を引き上げることが中心の内容となっている。人事院勧告に基づくものとされ、公民格差を是正し、市内の経済活性化に資するものと言わ



エアコン設置工事は市内業者に積極的に発注を

上越市は市内すべての小学校の普通教室、高田幼稚園のすべての保育室にエアコンを設置することを決め、14日の市議会本会議に関連予算を含んだ一般会計補正予算を提案しました。

エアコンが設置されるのは、小学校では大手町小学校など49校の472の教室、中学校では城北中学校など20校の193の教室、そして高田幼稚園の3つの保育室です。設置に必要な予算は

20億4410万円だということです。関係者の話によると、予算が通り次第、入札、契約、発注を急ぎ、来年の夏までには工事を完了させたい意向です。

この日は、市長が提案理由の説明をした後、日本共産党議員団を代表して上野公悦議員が総括質疑を行いました。

上野議員は質疑の中で、小・中学校等の普通教室へのエアコンの設置スケジュールを訊くとともに、特別教室への設置状況と今後の計画についても訊きました。

これに対して野澤朗教育長は、「提案内容は、小・中学校、高田幼稚園の全ての普通教室等668室へエアコンを設置するものであり、本年度限りの国の特例交付金と地方債を活用して財源の確保を図るとともに、早期の整備を目指すものだ。本補正予算の議決を得た後、明年2月中には

ひららぎ哲也の活動コーナー

手すりがつきましたが...

高田公園には多目的トイレが少なく、特に噴水近くのトイレには手すりすらないことを、昨年の市議会で指摘して改善を求めておりました。

このほど確認したところ、噴水近くのトイレに手すりが設置され、まずはひと安心です。

ただ、トイレの便器が

個室の対角線上に斜めに配置されていることから、便器と手すりが平行ではなく、手すりを頼りにしようとしても、力がうまく入りません。

こうしたことを始め、改善が必要な点はまだまだ少なくありません。皆さんの声を基に、さらに改善を求めています。

朝市での喫茶店営業が可能に

12月定例県議会に食品衛生法施行条例の一部改正案が提案されました。このことにより、朝市での喫茶店営業が可能になります。高田の朝市名物になっていたおしゃれなカフェの営業再開が待たれます。

原発再稼働ストップ! 暮らし最優先の県政を! 平良木哲也:090-1808-6919



写真はタネツケバナの花。このところの高温に刺激され、もう咲いています。吉川区大乘寺にて16日撮影。

全ての工事請負契約を締結したいと考えている。また、工事については、できる限り早期に使用を開始できるように進めていく」「既にエアコンを設置済みの図書室やコンピュータ教室以外のエアコンを設置していない630の特別教室への設置については、教室の使用頻度が低いことや、場合によっては教室を振り替えて使用することも可能であることなどから、設置計画から除く」と答弁しました。

また上野議員は、「今回のエアコン設置工事は大規模となるが市内業者への発注の考えを聞きたい」と市長に尋ねました。

これに対して村山秀幸市長は、「この度の小・中学校等への空調設備設置工事の発注についても、地元企業の育成や振興の視点はもとより、設置後の設備の効率的・継続的

日本共産党上越市議員団ニュース

No.617 2018年12月23日

連橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
 先上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)

な維持管理にも配慮すべきものと考えている。これまでと同様、地域の実情に精通し、地域経済の担い手である地元企業への発注に、意を用いてまいりたい」と答えた。